

静岡県観光基本計画策定懇話会（令和3年11月15日）の意見対応について

区分	御意見	発言委員	対応案
計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の豊かさ」と「持続可能な地域づくり」がSDGsと結びつけば良いと思う。うまく図でみせられないかとも思った ・SDGsと観光とどう結びついていくのか具体性があれば良いと思う。もう少し噛み砕いた訴えをしてもらえると伝わると思う ・静岡らしいSDGsを打ち出していくことが大切 	飯倉 清太 委員 加藤 久美 委員 高山 靖子 委員 三井 いくみ 委員 村山 慶輔 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念の図を修正し、「心の豊かさ」と「持続可能な地域社会の実現」が、本県が目指す「SDGsモデル県」の一翼を担うことを示す。 ・しずおかサステナブルツーリズムに具体的な効果を記載する。 ・生産者や料理人を認証する制度の運用による食のSDGsの推進、静岡版のサステナブルツーリズムの方向性の示す指針づくりなど、静岡らしい持続可能な観光地域づくりを進めていく。
	鍵括弧付の言葉が多く出てくるが、心の豊かさや持続可能というビジョン的なものを強調した書き方になると良い	加藤 久美 委員	・計画全般の文体を整理する。
	SDGsを打ち出すのは大切だが、活動レベルで取り組みを図る指標がない	村山 慶輔 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策として、持続可能な観光のモデルツアーを行い、静岡版のサステナブルツーリズムの指針づくりを行った上で、事例の情報共有などをしていき、サステナブルツーリズムの推進を図っていく。なお、目標や施策など計画全体の見直しについても追記する。
	成果指標と活動指標の関連性をはっきりとさせたほうが良い	村山 慶輔 委員 望月 宏明 委員	・成果指標と活動指標の関連について記載する。
個別施策	企業はESG投資に取り組んでいる。そのあたりを考えていけるような組織や会議体をつくることができれば良いと思う	飯倉 清太 委員	・DMO会議の推進に、関係団体の会議参画などDMO会議を拡充することを記載する。
	ICOIプロジェクトは関係者が集まっていかなければ進まないの、きちんと作り込みをしていただきたい	大石 人士 委員 加藤 賢二 委員	・御意見のとおり取り組む。
	持続可能な観光ガイドラインをどう活用していくのかがはっきりと見えなかったの、どう活用されるのかが気になった	加藤 久美 委員	・持続可能な観光モデル事業の箇所にガイドラインの活用について記載する。
	伊豆のオリンピックのコースを一般客に提供できるのであればありがたい	トニー エバレット 委員	・御意見として承る（屋外は一部有料道を除き同コースを走行可）。
	空港については新幹線駅ができればありがたい	トニー エバレット 委員	・御意見として承る。
	南北との取組よりも、箱根や東西（東海道）が静岡の強みであると思う	トニー エバレット 委員	・山の洲の取組の箇所に、既存の東西の重要性についても記載する。
	現存の古い施設整備について対策いただきたい	トニー エバレット 委員 三井 いくみ 委員	・御意見のとおり取り組む。
	旅行消費額8,000億円の目標について、インバウンドと国内の内訳は持っているのか	村山 慶輔 委員	・内訳としては、国内7,700億円、インバウンド300億円とし、インバウンド向けDMOであるTSJとも共有する。
	DXの活用に繁閑差の打開の視点を入れられると良い	村山 慶輔 委員	・デジタルマーケティングの効果の箇所に、「観光アプリTIPS等のデータを分析することにより、利用が多い時間帯や繁閑期の傾向を顕在化し、マーケティングに活用していく」旨を追記する。
	日本の人口推移を考えると観光産業として存続できるのかという問題があるので、若い人材を今から投入しておかないと間に合わないと思う	八木 健祥 委員	・御意見のとおり取り組む。
DMOがいかに関与する地域で、独自性を発揮して、具体的な経営戦略を出せるかが重要	八木 健祥 委員	・観光地域づくり法人（DMO）との連携強化に、「観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役であるDMOが重要な役割を担っている」「地域の実情を踏まえた観光地域づくりに取り組むDMOを支援する」旨を記載する。	